

## 第8回津別町市街地総合再生基本計画推進協議会 会議録

### 1. 開会

事務局：【欠席者の報告】岡本委員、中村委員、宮田委員が欠席。町長も欠席。

### 2. 会長挨拶

会 長：自身札幌から来ているが対策等をきちんと行っている。ご安心いただきたい。前回1月24日に第7回を開催し、後半はワークショップを実施した。委員からは忌憚ない意見として知りたいこと、不安なこと、わからないこと、質問事項などを多々いただいた。事務局と設計コンサルチームで持ち帰って議論を行い、今回に備えてきた。また、私事ではあるが傍聴者にお詫びを申し上げたい。傍聴者アンケートの中で私に対する叱咤やご意見をいただいた。推進の主旨や協議しなければならない件について、拙い進行役、乱暴な口ぶりで話すなどもあったので深くお詫び申し上げたい。委員の皆さまには建設的、前向きな意見を賜り今回を迎えた。今回も各テーブルのワークショップで意見をいただき、持ち帰り、次回協議結果をお伝えするような流れで進めたい。

### 3. 前回会議録の確認

－委員より意見、質疑無し－

### 4. 【報告事項】①前回協議会で出された意見等について

－事務局より説明－

### 5. 【協議事項】①設計案の考え方について

－アルファコート(株)より説明－

### 6. 【協議事項】②協議会ワークショップ時の意見を受けて

－アルファコート(株)より説明－

－津別町図書館建設検討委員会より議論経過の報告－

### 7. 【協議事項】③ワークショップの進め方

－事務局より進め方やタイムテーブル等について説明－

－設計事務所より模型写真を投影しながら建物構成の概略を説明－

－ワークショップを実施し、結果について各班より報告－

A 班：利便性でいけば2店舗統合のPOSレジを検討いただきたい。これは購入者目線の意見。視点を広げると町内購買層における町外購買は7割。今後を考えるとさらに人口が減少する。そうなった時にスーパーの持続性の懸念がある。トドックのよ

うなシステムに地域の店舗がどう対抗していくか。農家との連携などスーパー自体の在り方をもう少し先に進めなければ若者の購買促進等につながらない。付随したイベントを実施し、イベントで人を流入させた時に購買へつなげる。多方面からの相乗効果を生み出さなければ生活インフラとして不安。ドラッグストアとの合築にしてもその問題は同じだが合築したときは購買への動きが統一できる。木工業界ではアイデアを募って商品化ということが行われている。スーパーも総菜や陳列の企画を商品化に反映させるなど買う側と売る側が一体となるサイクルが必要。その際に共用広場がキーとなる。あとは福祉事業者などが入ってくる余地がある。ハイヤー会社も入るが、20時には終わってしまうので飲んだ後の迎えなどが無くなる。他にも細かい話はあったが、大きな話としてはこれくらい。ここからは設計事務所としての私見だが、スーパーは経営者の事業である一方、津別にとっては代えのきかない大切なインフラである。ドラッグストアとの連携も検討しなければならないが、スーパーの在り方を売る側と買う側で議論するというのは、まちづくりにとって大切なこと。それによって建築物の形が変わるわけではないが、そういう場は必要となる。色々な意見交換をしてスーパーを盛り上げていかなければ今後厳しくなるので、そのような場の設定が必要。細かい意見については今後協議して回答していきたい。

- B 班：合築に係る意見について、難しいことから現在の案になっているのだが、そこに至る経緯の説明が足りておらず、気持ち的にスムーズに話に入れない。幸いグループワーク内で聞くことができたので理由はわかった。スーパーもドラッグストアも1階でなければならないので合築の際に2階建てにならない。互いに1階同士で合築すると役場ギリギリまで敷地を使うことになるので厳しい。これらの理由がわかったので納得できたが、本来は前段の説明の中でクリアしておくべき。今回欠席の委員からの言伝でJA職員の駐車場を整備用地として利用することは不可能ではなく、検討の余地はあると聞いている。本協議会が良くも悪くも町民の興味を集めているので、当初は無理だった土地の提供などもしかしたら可能になってくるかもしれない。今後も色々なパターンの提案を進めていただきたい。あとは協議会に対して事務局から丁寧な説明が無い。協議会に対して丁寧な説明が無い中で町民に丁寧な説明を求めるのは土台無理な話なので、今回の前段の説明などをより丁寧にしていただきたい。なぜ丁寧にならないのか考えた時に、人手が足りないのではないだろうかと思う。時間も限られている中で、当初の見込みよりも多くの宿題が課せられている。我々が提案すべきことなのかはわからないが、一大事業なので課や係をまたいででも、オール津別で対応いただきたい。色々な案も出ていたが、現実的には今回提案いただいたプランしかないのではという話も出ていた。その中で賑わいを作る機能を施設内に作ってはという意見が出ており、例えば木製のボルダリングを作るなど津別ならではの機能を設置してはどうか。また、社会福祉協議会として認知症カフェを進めたいという話があり、この施設を使えると良い。呼び込む策にも繋がってくるが道の駅に指定できないだろうか。外からの流れを呼び込むこ

とができる。道の駅に図書館があるというのも良い。道の駅にできなければ「道の駅になれなかった」という施設にしても面白い。2棟を繋ぐ通路だが、屋根をかけるだけなので、冬場は道路が凍ってしまう。夏場だけでなく冬場も安心して利用できる導線を考えてもらいたい。

C 班：用地（合築）の話から始まった。A班の発表であったように人が来る仕組み、買う側のメリットを整えていただく。経営戦略の話だが、売り上げを上げるためにどう戦略をたてていくのか。施設を建てただけで若者が行くかと言われるとそうではなく、仕組みづくりがあった中で合築の方が足を運びやすい。ドラッグストアとして要求している面積等もあるし、駐車場台数を減らせないということもあるので、その中でどうやっていこうか。バスのルートなど道路用地などを含めて検討していかなければならない。B班で出ていたように賑わいを作るためには買い物環境だけでなく図書館の話も深めていくべきという意見もあった。あとはランニングコストで1棟建てと2棟建てでどれだけ差があるのか。1棟の方がコストは下がってくるのではないかと。チップボイラーでいけば、どうやってチップを確保して燃料としていくのかという話もあった。大店立地法の関係や、町道を無くすと住民説明が必要なので、それをどうしようかという話もあった。ドラッグストアの敷地が動かせないのであれば、国道側に持ってこられないかとも考えたが難しい。ただ、町道を無くせば可能とのこと。そうするとバスがどこを通るのかという問題もある。一面を一体整備することで、車も通れるし歩道も歩けるなど、どうすれば人が来てくれて使いやすいのか。いまは買い物環境の話だけで終わってしまっている。町の真ん中が大きな駐車場になってしまうのは寂しい気もする。バスの動かし方がどこまで検討できるのか、道路を無くした場合の通り方など制限もあると思うがその辺りの話もしていきたい。時間が足りないので、もう少し時間をかけて可能性を探りながら議論を深めていきたい。

会 長：WSでたくさんの意見が出たが、それを含めてアドバイザーより総括をお願いしたい。

アドバイザー：建物については早急に議論を詰めなければならない。ある意味津別町にとっては大きな投資となる。建物だけでなく、施設があることによって町内農家にメリットがある、飲食店が賑わう、など空間的な拠点となって町の機運が良くなるという発想で、何ができるのかを、建物に係る議論がひと段落して施設の供用開始までの間でアイデア出しと実行を行うことも重要。建物については色々な制約がある中なので、優先順位を考える必要がある。

会 長：譲れない部分はどこなのか、お互いの信頼関係やコミュニケーションを図りながらWS等で取り入れながら進めていきたい。

事務局：今後のスケジュールについて、2月14日の週で第9回協議会を開催したい。以後、全体スケジュールは少しずつ遅れていく。プランがまとまったら住民懇談会を開催したい。